



代表取締役
千田 成人

【事業計画名】

パイプベンダー更新による 船用配管製作の高度化と市場拡大

背景・目的

船舶の設備効率化、コンパクト化に応えるためには
小尺・長尺ものの加工に対応できることが必要

当社では昭和63年の創業以来、主に漁船で使用される水配管、油配管、蒸気配管、冷蔵庫用冷媒配管など、すべての船用配管の製作を行っています。配管の目的や用途に応じて、使用材料の選択から加工方法、組み立て、最終検査まで一貫して製造、施工しています。

配管のトラブルは船上での重大な事故につながる恐れがあり、製作に関しては慎重な配慮が必要です。また近年、船舶の大型化や設備の効率化、コンパクト化が進んでおり、配管製作においては造船会社から短納期を求められています。



実施内容

パイプベンダーの導入で曲げ加工メインに。溶接せずに強度確保

最新型のパイプベンダーを導入することで、加工工程の効率化、生産性向上、短納期化、低コストを目指しました。パイプベンダーとは、鉄やステンレス、アルミなどの金属パイプを曲げるための機械で、リンク機構のクランプ方式により曲げ加工を確実にできる

ものです。導入機器では、曲げ角度をタッチパネルに入力し、曲げ条件に応じた多数の曲げ角度の記憶が可能です。対応するパイプ径は17mmから60mmまでで、曲げ加工によって溶接箇所を減らして強度を確保することができます。



事業成果

曲げ加工の作業時間は従来の3分の2に。精度も向上

新規のパイプベンダーを導入したことで、従来の機械よりも精度とスピードの向上が実現し、入力した角度のデータにより近い加工が行えるようになりました。これにより、曲げ加工を行う作業時間の短縮と人件費の削減も可能になりました。具体的には、作業時間は従来の3分の2にまで短縮できています。手作業で曲げ加工を行っていたときよりも精度が上がったため、

お客様の細かな要望にもより応えやすくなりました。

また、溶接箇所を減らしての曲げ加工作業も多くなりました。

自社で曲げ加工のすべてを行うことで、低コスト・短納期での提供が実現できるようになりました。



ココがポイント

受注できる仕事量も拡大し、売上アップへ！

これまで当社への製造依頼の際、全ての仕事をお受けすることが難しかったのですが、パイプベンダー導入後は**受注できる仕事量も拡大し、お客様の精度の高いご要望にもお応えできるようになりました。**

仕事量拡大で
売り上げアップ！



今後の展望

多様な材質加工を武器に、船舶に限らない事業展開を目指す

当社は船舶配管メーカーとして、主に東日本沿岸地域の造船会社から仕事を受注しています。今後はパイプ・鉄・ステンレス・アルミニウム・銅などの多様な材質の加工が可能であるという当社の強みを活かして、既存受注量の拡大と、新規顧客による新たな受注を目指します。

また、食品や燃料、製紙、空調等の新規分野の開拓も目指します。特にア

ルミニウム製パイプの曲げ加工に関しては技術的に高い評価を受けており、大手冷凍機器メーカーから船舶用冷却配管製作・冷蔵庫用配管製作等の一部製品を受注している中で、製作分野の拡大も打診されています。

公園などの柵として使われているステンレスパイプや漁船よりも大きなフェリーや商船など、パイプが使われている場所はいろいろあります。今後

船以外の製作分野への進出、拡大をしていけるよう、積極的にビジネスマッチングや展示会等に参加して、当社の技術や能力を宣伝していきます。



千陽工業有限公司

〒031-0833 八戸市大字大久保字大山49-23
TEL.0178-35-3723 FAX.0178-35-3726

代表取締役 千田 成人 ◎創業 昭和63年4月 ◎資本金 500万円 ◎従業員 15名